



「工事発注の心構えは、どのようなものか」

- 仁井田笠石線の内容
- 震災線越明許費の進捗状況
- 事故線越見込み件数と事由について

小林政次議員

町長
道路建設と安全対策は大切だと考えている。注意を促す標識、路面等にも工夫した道路行政に取り組む。

質問
信号機設置が難しい場合、それに代わる交通安全施設は何を考えているか。

総務課長
道路改良に伴い通行量が増えると考えられる。交通事故未然防止のため、信号機設置を公安委員会に要望する。

質問
道路完成に伴い、町道との交差点に信号機を設置する考えはあるか。

質問
平成25年2月28日を完成時期として進めている。今後電柱移設、安全施設を設置する。

都市建設課長
現在町内では、3カ所の大規模車両進入禁止区域がある。この路線についてもその必要性や規制の条件等を検討し、警察署と協議する。

質問
当路線は通学路である。交通事故防止の観点から大型車両は進入禁止にできないか。

総務課長
現在町内では、3カ所の大規模車両進入禁止区域がある。この路線についてもその必要性や規制の条件等を検討し、警察署と協議する。

質問
大震災に係る線越明許費事業の進捗はどうなっているか。11月末の竣工件数、事業費、その割合はどうか。

総務課長
竣工件数は46件で58.2%が完了。事業費では全体で12億2千万のうち3億2千万円で25.3%の竣工となっている。

質問
毎月の工程会議では、どのような内容を検討していたか。遅延業者への指導監督はどのようにしていたのか。

都市建設課長
災害復旧事業を取巻く環境として、技術者作業員の人出不足さらには資材の確保が困難といったものがある。線越事業の進捗を把握しながら補助事業優先で発注する。

都市建設課長
災害復旧事業を取巻く環境として、技術者作業員の人出不足さらには資材の確保が困難といったものがある。線越事業の進捗を把握しながら補助事業優先で発注する。

質問
工事の遅延が多いが、25年度はどのような心構えで工事発注をするのか。

総務課長
平成24年度総務文教常任委員会所管事務調査は、平成24年9月26日（水）から27日（木）に行いました。

質問
26日は山形県中山町において「スポーツ施設を活用したまちづくり」としてひまわりグラウンドゴルフ場を視察。年間4万人の利用者で賑わう施設の運営方法と施設の及ぼす効果を多角的に研修しました。

質問
27日には本県の伊達市において除染事業等放射能対策状況を研修。実際の除染事業を間近で視察しました。

総務課長
平成24年度産業建設常任委員会所管事務調査は10月1日（月）から2日（火）に長野県内で行いました。

質問
1日は松本市において「畜産振興とまちづくり」を研修。農畜産物生産出荷安定対策事業や畜産農家の臭い対策等を調査しました。

質問
2日には日本一イベントで名高い佐久市の岩村田本町商店街において「商店街活性化」を研修。まちづくり・人づくり型の商店街づくり等を店舗を巡りながら視察調査しました。

総務課長
平成24年度産業建設常任委員会所管事務調査は10月1日（月）から2日（火）に長野県内で行いました。

質問
1日は松本市において「畜産振興とまちづくり」を研修。農畜産物生産出荷安定対策事業や畜産農家の臭い対策等を調査しました。

質問
2日には日本一イベントで名高い佐久市の岩村田本町商店街において「商店街活性化」を研修。まちづくり・人づくり型の商店街づくり等を店舗を巡りながら視察調査しました。

質問
27日には本県の伊達市において除染事業等放射能対策状況を研修。実際の除染事業を間近で視察しました。

総務課長
平成24年度産業建設常任委員会所管事務調査は10月1日（月）から2日（火）に長野県内で行いました。

質問
1日は松本市において「畜産振興とまちづくり」を研修。農畜産物生産出荷安定対策事業や畜産農家の臭い対策等を調査しました。

質問
2日には日本一イベントで名高い佐久市の岩村田本町商店街において「商店街活性化」を研修。まちづくり・人づくり型の商店街づくり等を店舗を巡りながら視察調査しました。



岩村田本町商店街視察

「町活性化のプロジェクトチームを」

- 学校と地域ボランティアの連携
- ご当地キャラクター開発計画
- ブランドイメージ回復について

長田守弘議員



質問
小学校特設クラブの実施状況、指導体制はどうなっているか。また、振興策はあるか。

教育長
各校とも4つの特設クラブがあるが、新学習指導要領によって制限されるものもある。各学校における休み時間の有効活用や教科体育の充実によって、活動欲求が満たせるよう支援したい。

質問
中学校の学力・体力及び進捗状況はどうなっているか。

教育長
学力調査によると3教科平均正答率の県の順位は全国22位。体力面は原発事故により活動が制限されたため、体力運動能力の向上には大変厳しい一年でした。

質問
学校教育と地域ボランティア及びスポーツクラブとの連携は大切と考えるが、具体的な事例等はあるか。

質問
町活性化のためにキャラクター例えば、ご当地ヒーローの活用等の考えはあるか。

産業課長
ご当地キャラクター、B級グルメ等がPR効果が高いことは承知している。今後調査検討したい。

質問
町活性化を検討するために、

教育長
水泳、サッカー、スキーそして陸上等に指導員派遣協力を得ている。学校応援団も地域住民の特性を生かして教育活動支援を受けている。

教育長
青少年健全育成町民会議と多くの団体で構成されている組織の活動内容は、どうなっているか。

質問
町の補正予算で風評被害に対する予算として、市町村が実施する地域ブランドイメージ回復のための経費が計上されたが、町の具体的な事業実施計画はあるか。

総務課長
本事業はハード、ソフトを問わず、ブランドイメージ低下の回復を図るための交付金であり、平成24年度から26年度までの3カ年度の事業となっている。新年度予算の編成に当たって、効果的な事業を検討する。

質問
個人、団体、若者、女性等広く人材を登用してプロジェクトチームを結成してはどうか。

産業課長
現在、魅力ある町づくり実行委員会という組織がある。今後は、観光協会や商工会等関係団体と連携し、地域活性化につながるような施策を展開したい。

質問
県の補正予算で風評被害に対する予算として、市町村が実施する地域ブランドイメージ回復のための経費が計上されたが、町の具体的な事業実施計画はあるか。

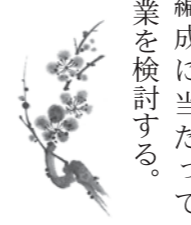
総務課長
本事業はハード、ソフトを問わず、ブランドイメージ低下の回復を図るための交付金であり、平成24年度から26年度までの3カ年度の事業となっている。新年度予算の編成に当たって、効果的な事業を検討する。

質問
個人、団体、若者、女性等広く人材を登用してプロジェクトチームを結成してはどうか。

産業課長
現在、魅力ある町づくり実行委員会という組織がある。今後は、観光協会や商工会等関係団体と連携し、地域活性化につながるような施策を展開したい。

質問
県の補正予算で風評被害に対する予算として、市町村が実施する地域ブランドイメージ回復のための経費が計上されたが、町の具体的な事業実施計画はあるか。

総務課長
本事業はハード、ソフトを問わず、ブランドイメージ低下の回復を図るための交付金であり、平成24年度から26年度までの3カ年度の事業となっている。新年度予算の編成に当たって、効果的な事業を検討する。



除染後の仮置場を視察



除染後の仮置場を視察

産業厚生委員会研修

平成24年度産業建設常任委員会所管事務調査は10月1日（月）から2日（火）に長野県内で行いました。

1日は松本市において「畜産振興とまちづくり」を研修。農畜産物生産出荷安定対策事業や畜産農家の臭い対策等を調査しました。

2日には日本一イベントで名高い佐久市の岩村田本町商店街において「商店街活性化」を研修。まちづくり・人づくり型の商店街づくり等を店舗を巡りながら視察調査しました。

総務文教委員会研修

平成24年度総務文教常任委員会所管事務調査は、平成24年9月26日（水）から27日（木）に行いました。

26日は山形県中山町において「スポーツ施設を活用したまちづくり」としてひまわりグラウンドゴルフ場を視察。年間4万人の利用者で賑わう施設の運営方法と施設の及ぼす効果を多角的に研修しました。

27日には本県の伊達市において除染事業等放射能対策状況を研修。実際の除染事業を間近で視察しました。